



令和3年度学校だより

五福校 ごふくこう

2月15日

No128

文責 本田

優しさが行動に・・・嬉しいお知らせがありました。

今日は、地域の方から学校に電話がありました。視覚障害をお持ちの方からだったのですが、「今朝、6年生くらいの男の子が新町の横断歩道を一緒に渡ってくれました。ありがとうございました」という内容でした。とても嬉しかったです。五福の子どもたちの何気ない行動が相手の方の心に響いたのでしょう。「人に優しく」とか心の中で思っている、実際に行動するとなるとなかなか難しいものです。学校の中でも、道徳や全ての教育活動をとおして心の教育に取り組んでいますが、その成果はなかなか学力のように測れるものではありません。このような行動をさっとできる子どもたちは素晴らしいと思います。「自分で考えて主体的に行動できる子ども」の育成を目指して、小さなことから日々取り組んで、よかったことを子どもたちに伝えることで学校教育目標に近づけていきたいと思っています。



「五福小の子どもが横断歩道を一緒に渡ってくれました」とのこと、優しさが行動に・・・嬉しいです。



どの学年も跳び箱に取り組んでいます。

体育館には体育の先生たちが跳び箱の授業をいつでもできるように毎日場づくりをしてくれています。子どもたちが自分のスキルに合わせてスモールステップで何度も技に挑戦することができるようにしています。昔と違って今は、タブレットで自分の手のつき方や踏切の位置なども客観的に見ることができます。NHK for schoolも参考にして科学的にフォームを分析してみるのも楽しいかと思っています。



おまけ

担任の先生たちはいつも外で一緒に走ったり、運動したりしている中、僕も口ばかりではいけないと思い、今日は跳び箱と縄跳び（2段とび）と持久走に挑戦？しました。さすがにちょっと疲れましたが、子どもたちと一緒に活動することでエネルギーをもらいました。五福校区は外で遊ぶ場所がありませんので、週末、お時間があれば、どうぞ学校で、親子で遊んでください。

